

⊕ 謙仁会居宅介護支援事業所



新型コロナウイルス感染症の終息までにはまだまだ時間がかかるようですが、長い感染予防生活の中、ご利用者様やご家族様など、皆様の笑顔や言葉に温かい気持ちなる事ができています。2023年も日々感謝の気持ちを持ち、サービスの向上に向けて一丸となって頑張りますので、よろしくお願いいたします。

比接になってもは、1年にもりませるに対してもります。



猫背や肩ごりが気になる方にも! 座ったままできる

姿勢改善エクササイズ

【肩ねじり】肩甲骨周りの筋肉をほぐし巻き肩を解消します 〇両手を真横に伸ばし、右手は手のひら下、左手は手のひら 上に向けます。右手は親指が下を向くように、左手は小指 が天井を向くように腕をねじります。同じようにまた反対 方向にねじっていきます。10~15回程行います。

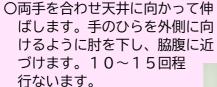
★腕の付け根からねじるようにしましょう。





【肩甲骨エクササイズ】

凝り固まった肩甲骨周りの筋肉を ほぐします



★胸を張って行いましょう。 手を挙げたときは出来る限り肘を伸ばしましょう。





提供:メディカルフィットネス伊万里



毎年11月11日は【介護の日】です。介護の日のキャッチコピーは「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」で、11月11日は「いい日、いい日」の語呂合わせになっています。令和4年も「Aコープいまり」さんと「ファインズたけだ」さんで相談会が行われました。日頃からご心配事やお困り事があればいつでもご相談下さい。

謙仁会 在宅ケアサポートセンターだより

居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション 訪問介護事業所 電話 24-9388 FAX 22-1120 令和5年1月発行 第42号 謙仁会ホームページ http://www.kenjin-kai.com.html



2023年の年頭にあたり、 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は新型コロナウイルス感染症も with コロナに向けた新たな段階にも入り、海外では情勢の変化、急激な円安や生活必需品の値上げなど多数の変化があり、皆様の不安は大きかったことと思います。この波を乗り越えられているのも、伊万里市地域の皆さまや関係各所のご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝致します。今後とも地域の皆さまの安心安全のために努めて参ります

これからは、介護保険も、保険給付頼りではなく、本人の力や住民相互の力も引き出して、介護 予防や日常生活支援を進めていくことをもう一つの柱にしていくことが必要となると考えられます。介護予防の推進(元気高齢者の増加)、地域包括ケアシステムにおける質の高いケアマネジメントの確立、介護現場の生産性の向上と人材確保、人材教育を念頭におき、地域の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるためのお手伝いができるよう、居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションなないろ・訪問介護事業所の3事業所のスタッフ全員でサービスの質をさらに高め、伊万里・有田また近隣の市町村のご利用者様、ご家族様、地域の皆様が安全かつ安心できる環境づくりに努めて参ります。

2023年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」 する年にしたいと思います。

今年も皆様からのご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

社会医療法人謙仁会 在宅ケアサポートセンター センター長 松尾 圭志



出張介護教室致します



在宅ケアサポートセンターでは、電話や窓口での相談はもちろん、老人会や婦人会など 町の寄り合いに出向き、支援されている皆さまの不安の解消など少しでもお役に立てる よう介護教室(相談会)を随時受け付けております。 → 謙仁会 訪問介護事業所

あけましておめでとうございます。職 員一同頑張って参りますので、今 後とも宜しくお願い申し上げます。



認知症予防に向けた食材選びと

食習慣の見直しについて

不摂生は万病のもと。健康なうちから正しい食習慣を身に付けよう。

・1日3食を決まった時間に

食べる。

リズムが乱れてくると、胃の内 容物が正常に消化されず、自律 神経が乱れ集中力を欠き、仕 事や勉強も集中できなくなりま



・ 栄養バランスのいい

メニューを考える。

食事は主食、主菜、副菜、 汁物といった具合に、一度の食 事で複数の食品を摂るようにし ましょう。食後に果物などのデ ザートを加えるのも良いでしょ



・塩分、糖分、脂肪、アルコール の過剰摂取を避ける。

塩分の高い食事は高血圧を、 脂質の高い食事は動脈硬化を 引き起こすリスクが高くなります。 同様に飲酒も血管に大きな負担 を与えます。



認知症予防に良いと いわれている食材

1.青魚 イワシ・サンマ・サバなどの青魚 4.オリーブオイル

2.大豆

3.野菜·果物

・認知症予防の観点から食事を取るときのポイント!

自分で調理する・・複数の作業を同時におこなうため、よい**頭の体操**になります。

料理のために台所に「立つ」のは軽い運動になりほどよく脳を活性化させます。

意識してよく噛む・・「噛む」という行為は、歯肉を刺激して、**脳への血流を良くする**効果があります。 **摂取カロリーを意識する**・・過剰なカロリーオーバーは、生活習慣病の大敵です。

一方で、過剰なカロリー制限は脳に必要な栄養が不足する可能性があります。

・食事以外での認知症予防方法

生活習慣の予防・適度な運動・社会交流・趣味・生きがいを持つ・禁酒・喫煙はほどほどにする。

さばじゃが重ね者 ★肉じゃがのさばバージョン。野菜の皮をむいたら 10 分ほどで完成しますが、野菜 にさばのだしが染み込んで、時短料理とは思えないコクやうまみが引き出せます!

《材料(2人分)》 さば水煮缶(190g)…1 缶 玉ねぎ…1/2 個 じゃがいも…2 個 にんじん…1 本 にんにく(みじん切り)…1 かけ 小ねぎ(小口切り)…大さじ1 酒…大さじ2 みりん…大さじ1 しょうゆ…1と1/2



【1】玉ねぎはたて 【2】鍋に【1】、さば缶 【3】器に盛り、小 1cm 幅、にんじんは。(缶汁ごと)とにんにく。ねぎを散らす。 1cm 幅の半月切りを入れ、調味料を加 にする。じゃがいも、えて蓋をし、沸騰し は 1cm 幅の半月切 たら弱火で 10 分間 りにして水にさらす。煮る。

青魚には、人間の体では作れな い DHA と EPA という脂質が含ま れていて、どちらも血液をサラサラ にする働きがありますが、DHA は 脳の働きを維持するのに有効。認 知症予防のために毎日摂ってほ しい成分です。

∕∕⊕ 訪問看護 ステーション なないろ

新型コロナウイルス

(症状)

発熱、頭痛、全身のだるさ 呼吸器症状

(咳・咽頭痛・鼻汁・鼻閉など) 下痢、嘔吐など多様です。



インフルエンザ

38℃以上の発熱、悪寒、関節痛、 全身のだるさなどの全身症状 喉の痛みや咳など、風邪症状に比べ て急激に症状が悪化します。



感染者が咳やくしゃみを手で抑えて その手で物に触れる(ドアノブ、電 車やバスのつり革など)他の人が触 れる場所を触ってしまうことで手か ら手へ口や鼻を触り粘膜から感染



空中に浮遊するウイルスを含む 微細粒子空気の流れで広範囲に 広がり、それを吸い込んで感染



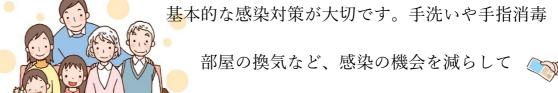
インフルエンザに感染した人の咳や くしゃみによって飛び散ったウイル スを含む粒子を吸い込んで感染。感 染者の咳と一緒にウイルスが放出さ れ1~2m飛ぶそれを吸い込んで感染

ごまめた何気









家族や親戚、友人など

楽しい時間を過ごしましょう。

